

症例検討

単純疱疹

H25.6 金町店

◇病態◇

皮膚および粘膜に単純ヘルペスウイルス(HSV)が感染して、小さな水疱を主体とする皮膚病変を生じる疾患。

人と人との接触によって伝搬し、感染が成立すれば全身のどの部位にも病変をつくるが、1型による疾患はおもに上半身に、2型による疾患はおもに下半身に発症する特徴がある。

HSVは初感染後、三叉神経と脊髄後根神経節に遺伝子の形で隠れ住み、潜伏感染の状態でその人に一生保持される。個人によってさまざまな頻度で再活性化し、神経内を皮膚粘膜へ移動して口唇や性器などに再発病変を生じる。HSV1型は小児期に感染を受けることが多く、日本人の20歳成人のHSV1型に対する抗体保有率は約50%程度とされている。無症候性排泄(ウイルスがごく微量分泌され、明らかな病変をつくらない現象)からでも伝搬が起こり、再発を繰り返すため、未然に予防することは困難である。

◇症状◇

発熱や日光への暴露、ストレスなどの誘因により、軽度の疼痛を伴い、限局的に集簇する小水疱を主体とする。

◇治療方針◇

皮膚粘膜部のウイルスを抑えて病変を早期に治癒させるとともに、神経節内でのウイルスの増殖も抑えることがその後の再発頻度を低下させると考えられるため、抗ヘルペス薬の内服療法が第一選択となる。

処方例

バルトレックス錠 500 mg 2T

分2 朝・夕食後 5日分

ファムビル錠 250 mg 3T

分3 毎食後 5日分

抗ヘルペス薬は発症後なるべく早期に内服を開始することが理想的。内服は一般的に5日分処方され、小水疱がかさぶたを形成すれば治癒とみなされる。病変は出現してから数日経過している場合は病変が比較的軽症なものであれば外用薬のみで対応されることもある。

H25.2.21 にファミビル錠に単純疱疹の適応追加

以降、3/1～5/31 の単純疱疹に対する近隣皮膚科の処方内訳

バルトレックス 39名

ファミビル錠 11名

通常のヘルペスであれば

ファミビル錠 476.3 円／錠 (1428.9 円／日)

バルトレックス錠 475.2 円／錠 (950.4 円／日)

上記の患者負担の差や 1 日 2 回というコンプライアンス面を考慮し、バルトレックス錠で処方されることが多いと考えられる。

但し、

ファミビル錠	バルトレックス錠
--------	----------

直径：約 10.1mm	約 18.5 mm
-------------	-----------

厚さ：約 4.6mm	約 7.3 mm
------------	----------

とファミビル錠の方が、錠剤が小さく飲みやすいため、錠剤が飲みにくい方や若い方に選択される例もある。

また、ファミビル錠はバルトレックス錠の吸収性を高めたプロドラッグで、生物学的利用率 77% (バルトレックスは 54.2%) であり、感染細胞内に 9.1 時間と長期にとどまる (バルトレックスは 0.8 時間) こと、分 3 のため薬の効果が途絶えにくいことから重症化例に使いやすいとされている。

*14 歳 女性：口唇に症状あり

2/23 バルトレックス錠 500 mg 2T

分 2 朝・夕食後 5 日分

↓

3/23 症状再発のため処方変更

ファミビル錠 250 mg 3T

分 3 毎食後 5 日分

*40 代 女性：左眼瞼に症状あり

眼科にてビルレクス眼軟膏 3%(アシクロビル)処方も改善しないため森皮膚科受診。

ファミビル錠 250 mg 3T

分 3 毎食後 5 日分

注意点

- 抗ウイルス剤はどちらも腎排泄型のため、高齢者の腎機能評価が必要。
アシクロビルは尿での溶解率が低く、結晶化しやすいため腎内に結晶として残ることがある。
→70歳以上の抗ウイルス剤処方では減量を考慮する必要がある。
また、投与中は十分な水分摂取をする（結晶化防止のため）
※ファミビル錠はバルトレックス錠より尿に溶けやすいため、腎機能に及ぼす影響は少ないと考えられる。
- ファミビル錠は光により約3ヶ月で錠剤の黄変が見られるため、遮光して保存する必要がある。

参考

近隣皮膚科における単純疱疹処方(年齢別)

